

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第138回)

スペースXが直接スマホと通信できる衛星の打ち上げに成功。今後の展開は？

2024.02.19



2023年12月、「[NTTドコモ、年内にStarlink Business提供。今後を占う](#)

」という記事を書いた。ここで取り上げた「スターリンク」は、イーロン・マスク氏率いる米スペースX社が行う衛星通信インターネットサービスのこと。スターリンクは一般的な静止軌道衛星(高度約36000km以上)に比べ、高度500～2000km程度という低い軌道を回る衛星を用いるため「低軌道衛星通信」と呼ばれる。数千基にわたる多数の低軌道衛星を連携、通り過ぎたら次の衛星に切り替えることで通信を途切れさせない「衛星コンステレーション」を特徴とする。

2024年1月、スペースX、スマホとの直接通信が可能な衛星打ち上げに成功

低軌道衛星通信サービスはスペースXの他、OneWeb、[Telesat](#)

、欧州連合(EU)など、十数の組織が2030年までに低軌道衛星ネットワークを構築する意向を示している。その中でもAmazonが手掛ける「Project

Kuiper」は2023年10月に最初の衛星の打ち上げに成功し、向こう6年間で約3000基の衛星の打ち上げを予定している。

スターリンクは基本的に数十センチの「スターリンクアンテナ」を空が見える場所に設置することで、地球上のどこでも通信環境を構築できる。

これまで、スターリンクの通信には受信機となるアンテナが必要で、スマートフォンなどの直接通信に非対応なのが残念といわれてきた。ところが2024年1月3日、スペースXにより打ち上げられたスターリンクの最新鋭衛星6基は、既存のスターリンクと接続してネットワークを構築可能な上に、スマートフォンとのLTE通信を可能とするアンテナを搭載、待望の直接通信実現の第一歩として大きく話題を呼んだ(「スペースX、スマホとの直接通信が可能な衛星の初打ち上げに成功」)。

KDDIとスペースX、空が見えれば通信ができる「直接通信」サービスを2024年内に開始… [続きを読む](#)